

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年5月15日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年5月15日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【5号機濃縮廃液貯蔵タンク液位記録計のデジタル表示部の不具合について】 当直員のパトロールにて、濃縮廃液貯蔵タンク液位記録計のデジタル機能表示部が脱落していることを確認。記録計本体の動作には問題なく、液位についてはアナログ指示部で確認可能なため、濃縮廃液貯蔵タンクの液位監視は問題ない。 今後、原因調査対策を検討。	GⅢ	5月8日
2	【雑固体廃棄物焼却設備の排ガス冷却器(B)噴霧水圧力計の不具合について】 当直員のパトロールにて、雑固体廃棄物焼却設備の排ガス冷却器(B)噴霧水圧力計の指示が計測範囲上限を超えていることを確認。圧力計の打診及び元弁の開閉を実施したが指示値に変化なし。 また、流量や温度のパラメータに異常がないことから、圧力計の故障と推定。 排ガス冷却器(B)噴霧水流量及び出口温度は通常値であり、焼却設備運転に支障がないため運転継続中。	GⅢ	5月11日